

平成25年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月30日

上場取引所 東

上場会社名 アークランドサービス株式会社

コード番号 3085 URL <http://www.arclandservice.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 臼井 健一郎

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 玉木 芳春

TEL 03-5217-1531

四半期報告書提出予定日 平成25年8月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第2四半期の連結業績(平成25年1月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第2四半期	6,972	13.5	1,042	7.0	1,064	5.1	621	6.7
24年12月期第2四半期	6,144	—	974	—	1,012	—	582	—

(注) 包括利益 25年12月期第2四半期 621百万円 (6.7%) 24年12月期第2四半期 582百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第2四半期	88.06	—
24年12月期第2四半期	82.55	—

(注) 平成24年9月1日付で普通株式1株につき、3株の割合をもって株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算出しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年12月期第2四半期	8,430	6,084	72.2	861.92
24年12月期	8,018	5,623	70.1	796.62

(参考) 自己資本 25年12月期第2四半期 6,084百万円 24年12月期 5,623百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	0.00	—	20.00	20.00
25年12月期	—	0.00	—	—	—
25年12月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年12月期の連結業績予想(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,500	13.3	2,180	11.1	2,200	9.2	1,200	7.9	170.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年12月期2Q	7,374,000 株	24年12月期	7,374,000 株
② 期末自己株式数	25年12月期2Q	315,143 株	24年12月期	315,143 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年12月期2Q	7,058,857 株	24年12月期2Q	7,058,886 株

平成24年9月1日付で普通株式1株につき、3株の割合をもって株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 1.本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- 2.平成24年9月1日付をもって、普通株式1株につき3株の割合で株式分割をしております。
- 3.当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

・平成25年7月30日(火)……機関投資家・アナリスト向け決算説明会

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新政権による大胆な経済政策や日本銀行による質的・量的金融緩和政策への期待感を背景として、円安株高が進行し、先行きの景況感には明るさが見られました。しかしながら、实体经济への波及はいまだ十分ではなく、長期化している個人消費の低迷や持続する厳しい雇用情勢、金融市場の乱高下や欧州債務問題など懸念等があり、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

外食業界におきましては、国内の市場規模に拡大が見られない中、消費者の低価格志向や中食傾向、さらには食材価格の上昇など、大変厳しい経営環境となりました。

このような環境の中で、当社グループは、「かつや」の平均月商の引き上げへの施策の実施と、出店加速に向けて取り組んでまいりました。

既存店につきましては、「かつや」において5回のフェアメニューの投入と5回のキャンペーンを実施した結果、1～6月の既存店売上高前年比は、直営店102.9%、FC店102.5%と好調に推移いたしました。また、既存店5店舗の「かつ併設型」への大規模改装を実施いたしました。

出退店につきましては、「かつや」を直営店4店舗（FC店からの営業譲渡1店舗含む）、FC店12店舗（海外2店舗含む）出店したことにより、直営店2店舗の閉店はありましたが、「かつや」の当第2四半期末の店舗数は純増14店舗の223店舗となりました。その他の業態につきましては、「チェントペルチェント」と「新橋岡むら屋」を各1店舗出店いたしました。また、「とん菜や」と「タヴェルナ ダ ビゴット」を閉店したことにより、当第2四半期末の店舗数は10店舗となりました。

なお、第1四半期連結累計期間より、関連会社のサト・アークランドフードサービス株式会社を持分法適用会社といたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上6,972百万円（前年同期比13.5%増）、営業利益1,042百万円（前年同期比7.0%増）、経常利益1,064百万円（前年同期比5.1%増）、四半期純利益621百万円（前年同期比6.7%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、8,430百万円となり、前連結会計年度末比412百万円の増加となりました。

これは主に、現金及び預金等の増加により流動資産が200百万円増加、新規出店に伴う有形固定資産等の増加により固定資産が211百万円増加したことによるものであります。

負債は、2,346百万円となり、前連結会計年度末比48百万円の減少となりました。

これは主に、未払法人税等の減少により流動負債が106百万円減少したものの、受入保証金の増加により固定負債が57百万円増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末比460百万円増加の6,084百万円となり、自己資本比率は72.2%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して252百万円増加し、3,860百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、694百万円（前年同期比18.2%減）となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純利益1,015百万円、現金支出を伴わない減価償却費119百万円、和解金の受取額66百万円があったものの、法人税等の支払額548百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、355百万円（前年同期比0.4%増）となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出256百万円、敷金及び保証金の差入による支出142百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、87百万円（前年同期比268.5%増）となりました。

これは主に、預り保証金の受入による収入58百万円があったものの、配当金の支払額141百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成25年2月7日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年1月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この減価償却方法の変更による影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,607,328	3,860,048
売掛金	476,107	452,510
商品	89,522	86,262
原材料及び貯蔵品	36,852	22,098
その他	318,021	307,452
貸倒引当金	△2,400	△2,200
流動資産合計	4,525,432	4,726,171
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,446,534	1,607,343
その他(純額)	160,466	168,455
有形固定資産合計	1,607,001	1,775,798
無形固定資産		
	6,045	5,318
投資その他の資産		
敷金及び保証金	974,302	974,254
建設協力金	559,186	618,532
その他	346,084	330,151
投資その他の資産合計	1,879,574	1,922,938
固定資産合計	3,492,621	3,704,055
資産合計	8,018,054	8,430,227
負債の部		
流動負債		
買掛金	627,948	553,306
未払法人税等	563,147	425,926
賞与引当金	—	36,326
その他	623,705	692,796
流動負債合計	1,814,801	1,708,355
固定負債		
受入保証金	399,600	447,992
資産除去債務	180,114	189,585
その他	296	89
固定負債合計	580,011	637,668
負債合計	2,394,813	2,346,024

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	456,320	456,320
資本剰余金	408,562	408,562
利益剰余金	4,837,207	5,298,070
自己株式	△78,870	△78,870
株主資本合計	5,623,219	6,084,082
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	20	120
その他の包括利益累計額合計	20	120
純資産合計	5,623,240	6,084,203
負債純資産合計	8,018,054	8,430,227

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
売上高	6,144,046	6,972,030
売上原価	2,515,404	2,960,044
売上総利益	3,628,642	4,011,985
販売費及び一般管理費	2,653,782	2,969,257
営業利益	974,860	1,042,727
営業外収益		
受取利息	5,331	6,988
協賛金収入	24,897	10,045
雑収入	9,450	8,092
営業外収益合計	39,679	25,125
営業外費用		
持分法による投資損失	—	2,647
雑損失	1,815	974
営業外費用合計	1,815	3,621
経常利益	1,012,724	1,064,231
特別利益		
固定資産受贈益	—	5,130
受取和解金	54,491	—
その他	—	743
特別利益合計	54,491	5,873
特別損失		
固定資産除却損	25,686	12,835
店舗閉鎖損失	11,569	41,457
減損損失	17,815	—
その他	6	—
特別損失合計	55,077	54,292
税金等調整前四半期純利益	1,012,137	1,015,812
法人税、住民税及び事業税	436,384	412,002
法人税等調整額	△6,940	△17,809
法人税等合計	429,443	394,193
少数株主損益調整前四半期純利益	582,694	621,618
四半期純利益	582,694	621,618

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	582,694	621,618
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	39	—
為替換算調整勘定	△46	99
その他の包括利益合計	△6	99
四半期包括利益	582,687	621,718
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	582,687	621,718
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,012,137	1,015,812
減価償却費	108,864	119,175
固定資産除却損	25,686	12,835
店舗閉鎖損失	11,569	41,457
減損損失	17,815	—
受取和解金	△54,491	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	37,286	36,326
受取利息	△5,331	△6,988
売上債権の増減額 (△は増加)	9,539	24,420
たな卸資産の増減額 (△は増加)	21,642	18,210
その他の資産の増減額 (△は増加)	21,105	10,457
仕入債務の増減額 (△は減少)	△56,159	△75,007
その他の負債の増減額 (△は減少)	△4,495	△19,395
その他	△93	△3,916
小計	1,145,076	1,173,387
利息の受取額	1,464	2,703
和解金の受取額	—	66,500
法人税等の支払額	△298,010	△548,077
営業活動によるキャッシュ・フロー	848,530	694,513
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△163,564	△256,901
関係会社株式の取得による支出	△102,018	—
関係会社預け金の預入による支出	△2,000,000	△2,500,000
関係会社預け金の払戻による収入	2,000,000	2,500,000
敷金及び保証金の差入による支出	△102,495	△142,982
敷金及び保証金の回収による収入	14,076	40,477
その他	60	4,031
投資活動によるキャッシュ・フロー	△353,940	△355,373
財務活動によるキャッシュ・フロー		
預り保証金の受入による収入	95,533	58,690
預り保証金の返還による支出	△1,700	△5,265
配当金の支払額	△117,648	△141,177
財務活動によるキャッシュ・フロー	△23,814	△87,752
現金及び現金同等物に係る換算差額	△46	1,332
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	470,728	252,719
現金及び現金同等物の期首残高	2,594,920	3,607,328
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,065,649	3,860,048

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。